

TECHNICAL DATA

種 類	無機質浸透性再結晶材 (防水・止水)
商 品 名	J Sマイクロバリアー

改訂版数：	第3版
-------	-----

DATE： 2023. 4. 1



菊水化学工業株式会社

標準施工仕様書

- 種類：無機質浸透性再結晶材（防水・止水）
- 商品名：JSマイクロバリアー
- 適用範囲：モルタル、コンクリート、ブロック、鉄筋コンクリートの建物等のセメント系構造物の防水及び下地調整に適用します。
- 適用下地：セメントモルタル・コンクリート・ブロック等
- 仕様：刷毛塗り、コテ塗り、吹付け

工程	材料・調合	施工用具・条件	塗回数	間隔時間 (20℃)	所要量
主材	JSマイクロバリアー 粉体：10kg スタッコEMX-カチオン (4倍液希釈液) 混和液：4～10%	①左官刷毛 ②左官鏝 ③リシンガン (口径6mm)	2	最終養生 48以上	スタッコEMXカチオン (4倍液)使用時 約1.5kg/m ² (約10m ² /袋)

注) 上記の各数値は、全て標準のものです。施工方法、施工条件により各々多少の幅を生じることがあります。

● 工法

1. 下地調整

- (1) 下地の汚れ及び付着物等は、除去・清掃して下さい。
- (2) 下地の凹凸・レイタンスは、ワイヤーブラシ・グラインダーで除去して下さい。
- (3) コンクリートのジャンカ・亀裂部分・打継箇所等の不良箇所や異物(木片・番線等)は除去し、「JSプレミックス60H(カチオン)」等で補修して下さい。

2. 材料の混ぜ合わせ

- (1) スタッコEMXカチオン(4倍希釈液) 4%に、JSマイクロバリアー10kgを加え、なじむまで十分に固練りする。
刷毛塗り又はコテ塗りの場合は、液を0～4%加えて、適性軟度に調整して下さい。
リシンガンを使用する場合は、液を0～6%加えて、適性軟度に調整して下さい。
- (2) 調合後の可使用時間は1時間(20℃)により、それまでに使い切して下さい。

3. 主材塗り

- (1) 下地に塗布する前に水養生を行って下さい。
- (2) 一度に厚みを付けず2回塗りで所定の塗り厚に均一に仕上げして下さい。
- (3) 1回目に塗布した面が乾燥した場合は、必ず水養生を行って下さい。
- (4) 材料を取り扱う場合は、ゴム手袋を使用して下さい。
- (5) 使用した工具及び容器は、直ちに水洗いして下さい。

4. 気象条件

- (1) 施工場所の気温が5℃以下、湿度が85%以上又は結露の発生が考えられる場合は、乾燥過程で種々の欠陥を生ずることがあるので、施工を避けて下さい。
- (2) 外部の施工で降雨、降雪の場合又はそのおそれがある場合は施工を避けて下さい。

5. 材料保管

- (1) スタッコEMXカチオンは、直射日光下及び0℃以下での保管は避けて下さい。
- (2) JSマイクロバリアーは、湿気や水掛かりに注意して保管して下さい。

組 成 表

種 類 無機質浸透性再結晶材 (防水・止水)

商品名 粉 体 : JSマイクロバリアー
混和液 : スタッコEMXカチオン

荷 姿 ①JSマイクロバリアー NET 10kg × 2袋 / ペール缶入
②スタッコEMXカチオン NET 18kg / 一斗缶入

組 成

①JSマイクロバリアー

内 容	重 量 (%)
ポルトランドセメント	50 ~ 60
骨材 (シリカ、タンカル 等)	30 ~ 40
珪酸塩	5 ~ 14
その他	0 ~ 1
計	100

②スタッコEMXカチオン

内 容	重 量 (%)
SBRラテックス	45 ~ 46
清 水	54 ~ 55
計	100

性能試験成績書

種類	無機質浸透性再結晶材 (防水・止水)		
商品名	JSマイクロバリアー		
供試材料	JSマイクロバリアー スタックEMカチオン (強度測定)		
試験項目	試験方法		結果
圧縮強度	JISR5201	材令7日	5.8 N/mm ²
		材令28日	14.5 N/mm ²
付着強度	JISA6909		0.90 N/mm ²
止水性能	別紙添付		
ー以下余白ー			

一般的な注意事項

《下地》

- 下地がコンクリート、モルタルの場合は、下地の乾燥を十分に行ない、含水率 10%以下、pH10 以下で施工してください。
- 大きな動きが予想される部位への塗装は、塗膜がひび割れまたは剥離する可能性があります。

《環境》

- 夏期など、特に気温が高い場合や下地の吸い込みが著しい場合はドライアウトの原因となります。適当な水湿し、または下塗りを行ってください。
- 塗膜の乾燥過程で水分の影響（高湿度、結露、降雨等）を受けた場合、塗膜表面が白化することがあります。施工場所の気温が 5℃以下、湿度 85%以上又は結露の発生が考えられるなど水分の影響を受ける可能性がある場合は、施工を行わないでください。
- 外部施工で降雨、降雪のおそれ、または強風のおそれがある場合は施工を行わないでください。
- 絶えず結露が発生するような部位、場所への塗装はしないでください。
- 直射日光下で施工する場合は、適切な養生をし、下地表面の急激な温度上昇を防止してください。
- 施工時は換気を十分に行ってください。

《施工》

- 施工時は飛散防止として養生は十分に行ってください。
- 施工面とその周辺（車や付帯設備を含む）や床などに汚染や損傷を与えないように注意し、必要に応じて、あらかじめ施工箇所周辺に適切な養生を行ってください。
- 乾燥途中で降雨等が予想される場合は、シート養生を行うなどして、塗膜表面に水分が当たらないようにしてください。
- 各種施工仕様に記載の所要量及び間隔時間を守って施工し、適正な塗付量を確保してください。
- 表面に白華が発生した場合はブラシ等により除去してから次工程の作業を行ってください。
- 施工箇所が高温である場合は、製品をできるだけ気温の低い所に保管し、あらかじめ冷却した水で練り混ぜてください。
- 使用後は塗装器具を十分に洗浄してください。
- 溶剤形の下塗を取り扱う場合には、特に火気に注意し、消防法及び労働安全衛生法等を厳守してください。
- 磁器タイル洗浄用の酸が表面に付着すると変色したり、溶解することがあります。磁器タイルの洗浄用の酸が塗装面に付着する可能性がある場合は、必ず施工面のマスキングを行ってください。

《保 管》

- 直射日光下や屋外、0℃以下での保管はしないでください。
- 製品は、湿気に注意し、水がかりを避け、パレットの上に置き、なるべく乾燥した屋内に保管してください。

安全衛生上の注意事項

- 製品の取扱いについての一般的な注意事項の詳細は SDS (安全データシート：旧 MSDS) を参照してください。
- 取扱い後は手洗い、うがいを十分に行なってください。
- 適切な保護手袋、保護眼鏡、防毒・防塵マスクなどを着用してください。
- 目に入った時は直ぐに水で洗い、速やかに医師の診断を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合は速やかに医師の診断を受けてください。
- 皮膚についた場合は、多量の水と石鹼で洗ってください。また、皮膚刺激または発疹が生じた場合は、診断を受けてください。
- 粉じん、蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合は、安静にし、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- 火気、スパーク等の発火源があると、粉じん爆発の恐れがありますので、取り扱いには十分注意してください。
- 取扱い中は、粉じんがたたないように注意し、また、取扱い後は密閉した容器に保管してください。
- 缶の取手は手さげ専用です。ロープやフックで吊り下げると外れることがあり危険です。絶対に行わないでください。
- 子供の手の届かない所に保管してください。
- 塗料、塗装器具を洗浄した汚水はそのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処理してください。

* 本仕様書の内容は予告なしに変更することがあります。

施工に当たっては常に最新版の仕様書を参照し、適切な対策を取るようになしてください。